

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	障害者団体育成支援事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	04	4節	誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	障害者支援課			
施策	4-2	高齢者や障害者がいきいき暮らせる社会づくり		主管課長	小西 和典			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	障害者団体	意図	障害者団体の運営が安定する。
事業内容	組織が脆弱な障害者団体の活動を支援するために補助金を交付する。			
事業開始から現在までの状況変化	障害者の福祉の増進を図るため、市内の障害者福祉団体（自閉症親の会、点訳奉仕会、手話サークル連絡協議会、身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会、デフ協会）の運営及び事業に要する経費の一部を補助し、障害者福祉団体の運営の安定を図ることを目的に開始した。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①	障害者福祉団体数	6	6	6	件	→→
②							
③							
④							
⑤							
⑥							

  

指標で表すことができない定性的な成果				目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事務事業の総コスト(a=b+c)	1,181,200	1,154,600	1,109,980	
事業費(b)(円)	880,000	880,000	841,500	
うち一般財源	880,000	880,000	841,500	
職員給与費(c)(円)	301,200	274,600	268,480	
人役・職員(人)	0.04	0.04	0.04	
人役・再任用(人)				
人役・臨職(人)				
人役・嘱託(人)				
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）				

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	B 市が担うとともに、市民協働を進めるべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
総合評価	III 要改善（事業は継続するが、更なる改善が必要）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	市民まっりの会場や障害者週間展示会で、団体の紹介や団体への入会の呼びかけの実施。	③取組の課題	団体の活動状況を広く市民に知ってもらう工夫が必要。
②今年度(H29)に実施した取組	市民まつり会場で、障害者団体が出店したり、団体のPR活動を実施した。知的障害者の親の会、手話サークルの「木の会」がホームページの充実に取り組んだ。	④今後(H30以降)の改善計画	団体の活動状況を広く市民に知ってもらうため、各団体にホームページの活用を指導する。また、補助金に頼ることなく、自前収入増加が図れるよう呼びかける。